

テクノテスター報告書作成支援ソフト

テクノテスターReport Ver.2.0

取扱説明書



-
- このたびは、テクノテスターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 - ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
 - お読みになった後は、大切に保管して必要なときにお読みください。
-

使用上のご注意

- ご使用の前に、この「使用上のご注意」を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ここには、安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。



重 要

- 本製品はサンコーテクノ株式会社の著作物です。
- 本製品の複製や改変、加工、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行う事を禁止します。
- 本製品は弊社製品テクノテスターDⅡ測定部搭載機専用のソフトウェアです。
テクノテスター以外の製品ではご使用できません。
- 使用する試験機の取扱説明書もあわせて参照し、危険の無いよう注意してください。

目 次

1. テクノテスターReport とは	
(1) 概要.....	1
(2) 動作確認環境	1
2. テクノテスターReport のインストール	1
3. 測定データの取り込み	
(1) テクノテスター（試験機）とパソコンの接続	2
(2) テクノテスターReport の起動	2
(3) 初期設定	3
(4) 測定データの取り込み	5
4. 測定結果ファイル	
(1) 保存先、ファイル名について	7
(2) 出力データ内容	7
5. 終了方法	9
6. 各種設定変更方法	
(1) 通信ポート、ボーレートの設定	9
(2) 測定結果ファイル保存先フォルダの設定	10
(3) テクノテスター（試験機）の日時設定	10
7. エラーメッセージと対処方法	11
8. 保証とアフターサービス	13

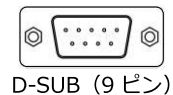
1. テクノテスターReport とは

(1) 概要

本ソフトウェアは、引張試験報告書等の作成をサポートする付属の専用ソフトウェアです。付属の専用ケーブルでD II 測定部とパソコンを接続し、テクノテスター測定部に蓄積した試験データをパソコンに転送し、Excel のワークシートとして保存が行えます。

(2) 動作確認環境 ※

O S	Microsoft Windows 10
アプリケーション	Microsoft Excel 2013, 2016, 2019
パソコンとの接続	RS-232C (D-SUB 9 ピン) ※USB シリアル変換ケーブル (市販品) を用いる事で USB ポートに接続が可能



※お客様がお使いになられている PC や環境等により、上記動作確認環境を満たしていても正常に作動しない場合もございますので、動作保証はいたしかねます。

また、Windows 更新プログラムを起因とする個々の不具合等も対応いたしかねますので、併せてご了承ください。

2. テクノテスターReport のインストール

CD-ROM の「TechnoTester」フォルダ内の以下のファイルを、PC 上の任意のフォルダにコピーしてください。

- ・ テクノテスターReport_200.xls
- ・ TechnoTester_reportTMP.xlt

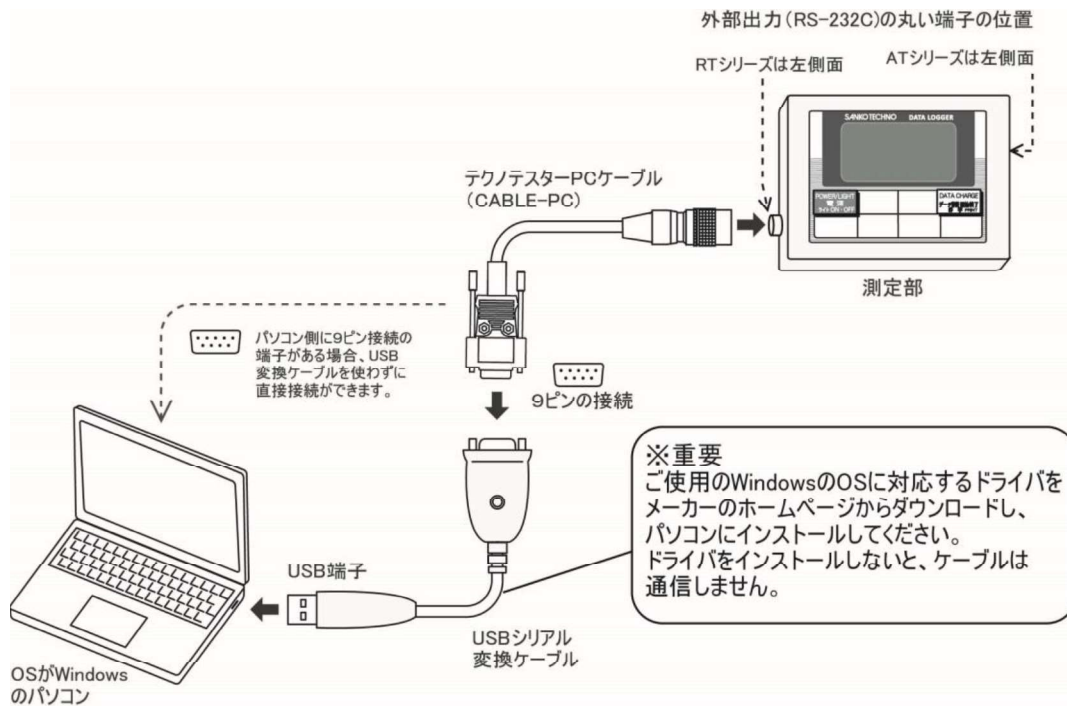


※上記の2つのファイルは **必ず同じフォルダにコピー**してください。あらかじめ、Microsoft Excel 2013,2016,2019 のいずれかがインストールされている必要があります。

3. 測定データの取り込み

(1) テクノテスター（試験機）とパソコンの接続

下図のようにテクノテスターの測定部とパソコンをテクノテスターPCケーブルで接続します。**USBシリアル変換ケーブルをご使用の場合は、パソコンにドライバのインストールを必ず行ってください。**

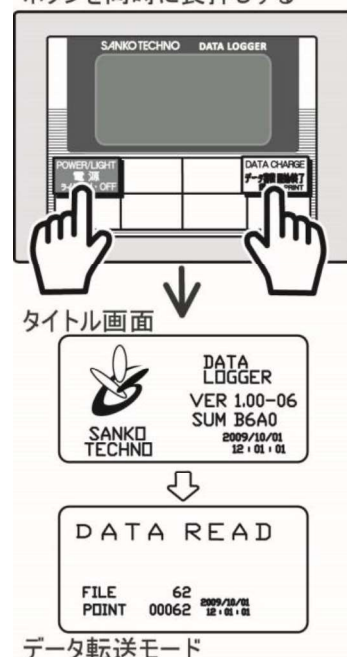


(2) テクノテスターReport の起動

- ① 次にテクノテスターを **データ転送モード** にします。

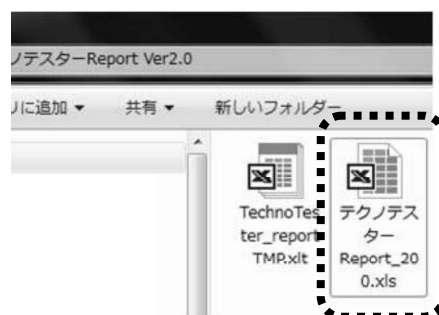
電源が切れている状態で、[データ蓄積 開始／終了] ボタンを押しながら [電源] ボタンをしばらく押し続けると、タイトルが表示されます。タイトル表示中もしばらく [電源] ボタンを押し続けると「**データ転送モード**」になります。

電源が入っていない状態で2つのボタンを同時に長押しする



② テクノテスターReport を起動します。

はじめにパソコンへコピーした、フォルダの中のファイル名【テクノテスターReport.xls】をダブルクリックします。



③ Excel が起動し右図のダイアログが表示された場合は、「マクロを有効にする」ボタンを押してください。

※ Excel のマクロセキュリティのレベル“中”である必要があります。レベルの変更については、Excel のヘルプ等をご参照ください。



【マクロを有効にする】をクリック

④ メインメニューが表示されます。初期設定を行ってください。

(3) 初期設定

初回起動時にはテクノテスターとパソコンとの通信の設定と、測定結果ファイル保存先の設定を行う必要があります。

① 「設定」ボタンを押してください。

メインメニュー



【設定】ボタンをクリック

② 設定ダイアログが開きますのでテクノテスター測定部との通信が出来るかを確認します。
「自動設定」ボタンを押してください。

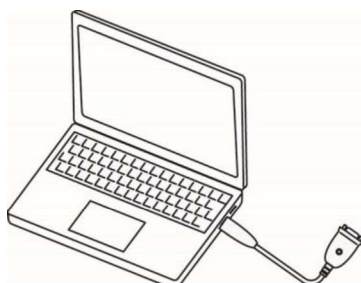
※ 通信が行われるにはテクノテスターとパソコンがテクノテスターPC ケーブル等で接続され、測定部がデータ転送モードになっている必要があります。

(前ページを参照)



【自動設定】ボタンをクリック

③パソコンの有効な通信ポートが自動で検索され、その通信ポートを通じて、テクノテスター測定部の検索が開始されます。



ここでの検索中の「ポート」とはパソコン側の USB ケーブルなどを差し込む場所になり、通常 1 台のパソコンに複数のポートが設けられています。通信ポート (COM ポート) は COM 1、COM 2 …と番号がふられており、どのポートに USB ケーブルが差し込まれているのかをパソコンが認識するための検索も行われます。

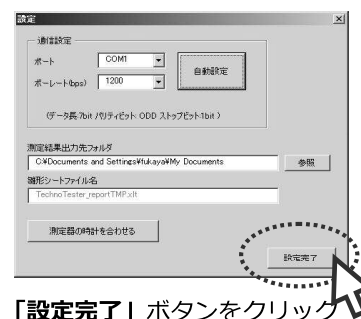
④測定器の検索が終わったら次に測定結果ファイル保存フォルダの設定を行います。

**「参照」ボタンは押さずに、
入力ボックスに直接保存先を
入力してください。**

入力ボックスに、データの保存先をコピー＆ペーストなどで直接入力をしてください。



「設定完了」ボタンを押すと保存フォルダの設定が確定し、ダイアログが閉じます。

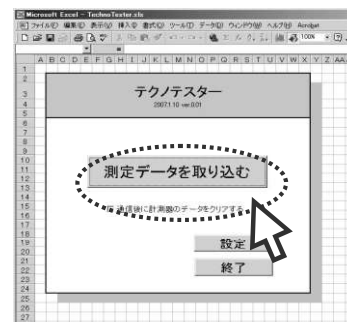


以上で初期設定が完了しました。

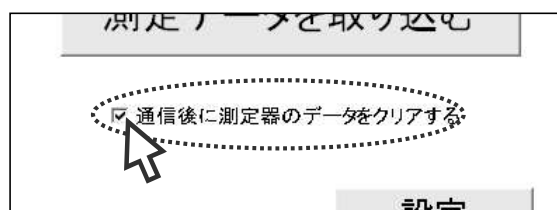
詳細な設定につきましては、P.9「各種設定変更方法」をご参照ください。

(4) 測定データの取り込み

- ① メインメニューで「測定データを取り込む」ボタンを押す。

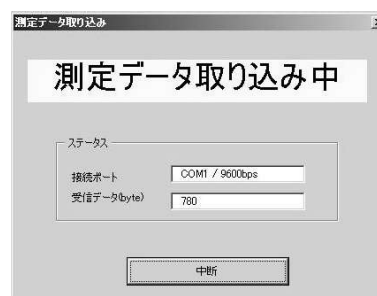


※ 「通信後に測定器のデータをクリアする」チェックボックスにチェックを入れた場合は、測定データ取り込み後、テクノテスター測定部に記録されている測定データが消去されます。



- ② 測定データの取り込みが開始されます。
しばらくお待ちください。

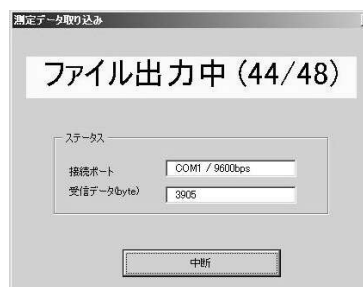
※ 「中断」ボタンで処理を中断できます。



測定データ取り込み時表示画面

- ③取り込み後、Excel ファイルが出力されます。

※ 「中断」ボタンで処理を中断できます。



ファイル出力時表示画面

※ファイルの上書き保存確認

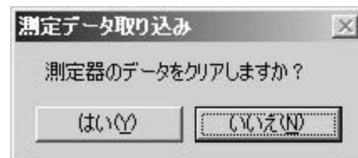
すでに同名のファイルが存在する場合は、上書き保存の確認ダイアログが開きます。

「はい」を選択すると、上書き保存されます。

「いいえ」を選択すると、ファイル選択ダイアログが開きますので他のファイル名を入力してください。ファイル選択ダイアログ上でキャンセルを押すと、出力は中断されメインメニューにもどります。



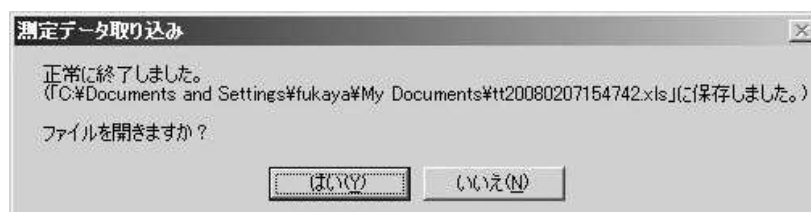
- ④ 測定データ削除確認メニューが表示されます。ファイルの出力が完了すると、測定器（テクノテスター）のデータを削除するか確認が行われます。



「はい」を選択すると測定器（テクノテスター）データがクリアされます。

「いいえ」を選択すると測定器（テクノテスター）のデータはクリアされません。

- ⑤ 完了しますと「正常に終了しました」のダイアログが表示されます。
また、出力されたファイルのファイル名も表示されます。



「はい」 ボタンを押すとファイルを開きます。

「いいえ」 ボタンを押すとそのままメインメニューに戻ります。

以上で取り込みは完了です。取り込まれたファイルについては、
P.7 「4.測定結果ファイル」をご参照ください。

4. 測定結果ファイル

(1) 保存先、ファイル名について

測定データは、初期設定で設定したフォルダに保存されます。ファイル形式は、Excel ワークシートとなります。ファイル名は次の形式になります。

【ファイル名形式】

TechnoTester_○○○○△△□□.xls

TechnoTester_ … 固定

○○○○ …年(4桁)

△△ …月(2桁)

□□ …日(2桁)

例) 2020 年 10 月 31 日に
測定データを取り込んだ場合
TechnoTester_20101031.xls
と保存されます。

※ 日時は、測定データ取り込み時点の日時です。

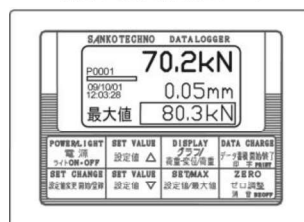
(2) 出力データ内容

①最大値蓄積データ

テクノテスターの**ポイントデータ**

PXXXX (荷重-変位試験モード、
荷重試験モードで試験をし、保存を
したデータ) が取り込まれます。

荷重-変位試験モード



荷重試験モード



荷重最大値・変位値 (荷重最大時)
は、1 シート目にまとめて記載
されます。

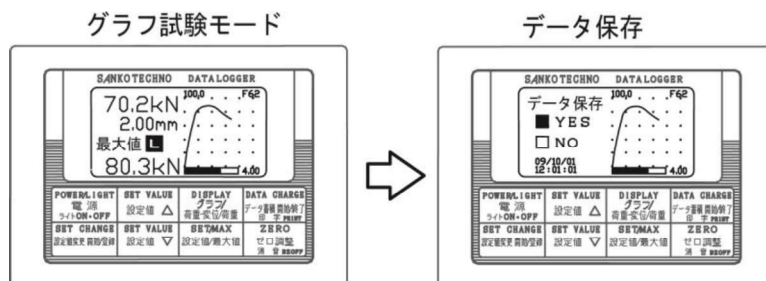
荷重試験モードでの変位値は
0.00mmとなります。

A2		RF00						
	A	B	C	D	E	F	G	H
1	最大値蓄積データ							
2	RF00							
3	No	日付	時刻	荷重 最大値	荷重 単位	荷重最大時の 変位値	変位 単位	
4	1	2009/4/22	11:06:27	27.8	kN	0.88	mm	
5	2	2009/4/22	11:07:19	26.3	kN	0.86	mm	
6	3	2009/4/22	11:08:12	28.9	kN	0.87	mm	
7	4	2009/4/22	11:09:49	29.6	kN	0.89	mm	
8	5	2009/4/22	11:10:48	27.7	kN	0.88	mm	
9	6	2009/4/22	11:11:35	27.4	kN	0.9	mm	
10	7	2009/4/22	11:12:58	29.1	kN	0.9	mm	
11	8	2009/4/22	11:14:13	28.3	kN	0.9	mm	
12	9	2009/4/22	11:15:31	28.9	kN	0.91	mm	
13	10	2009/4/22	11:23:55	28	kN	0.74	mm	
14	11	2009/4/22	11:24:37	26.6	kN	0.92	mm	
15	12	2009/4/22	11:25:22	28	kN	0.93	mm	
16	13	2009/4/22	11:26:22	28.9	kN	0.95	mm	
17	14	2009/4/22	11:27:14	29	kN	0.93	mm	
18	15	2009/4/22	11:28:04	28	kN	0.92	mm	
19	16	2009/4/22	11:29:07	26.4	kN	0.86	mm	
20	17	2009/4/22	11:29:51	27.5	kN	0.91	mm	
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								
91								
92								
93								
94								
95								
96								
97								
98								
99								
100								

※ 出力された Excel ファイルはデータの改ざん防止のためプロテクトをかけております。ただし、列 H 以降 (右) の空白セルはロック解除をしてありますので、メモ等の追記が可能です。

②波形蓄積データ

テクノスターの**グラフデータ FXX**（グラフ試験モードで試験し、保存をしたデータ）が取り込まれます。



波形 01～（2～100 シート目）に 1 回の測定データが、1 シートに記載されます。

グラフ蓄積データ

RF01

日付・時刻 2009/4/22 11:05:46

荷重最大値 27.80 kN

荷重最大時の変位値 0.88 mm

測定結果

試験日時 2009-4-22 11:05:46

試験名称

荷重設定値 (kN)

変位設定値 (mm)

立会者

試験者

試験機

供試体

母材

施工条件

測定値

最大荷重 27.8 (kN)

最大荷重時の変位値 0.88 (mm)

最大荷重までのデータ抜粋

荷重値 (kN)	変位値 (mm)
0.00	0.00
0.90	0.09
2.90	0.30
4.50	0.47
6.50	0.60
7.80	0.66
9.00	0.69
9.70	0.69
11.60	0.72
12.90	0.73
13.20	0.73
15.20	0.75

最大荷重までのデータ抜粋を表示します。

荷重－変位曲線を表示します。

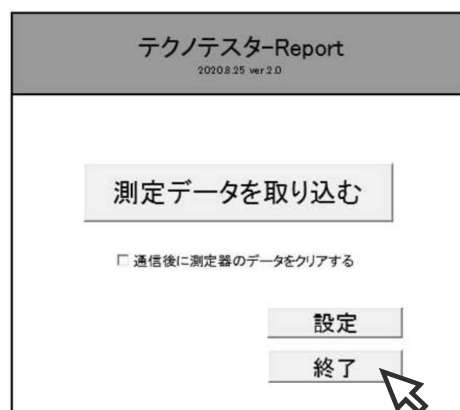
※ 出力された Excel ファイルはデータの改ざん防止のためプロテクトをかけております。ただし、列 AE 以降（右）の空白セルはロック解除をしてありますので、メモ等の追記が可能です。

5. 終了方法

Excel をそのまま閉じてください。

または、**メインメニューの「終了」** ボタンを押すことで本ソフトウェアのワークシートを閉じることが出来ます。(Excel 自体は終了しません)

[閉じる] ボタンをクリック



[終了] ボタンをクリック

6. 各種設定変更方法

メインメニューで「設定」ボタンを押すと設定ダイアログが表示されます。
設定ダイアログでは、以下の設定が可能です。

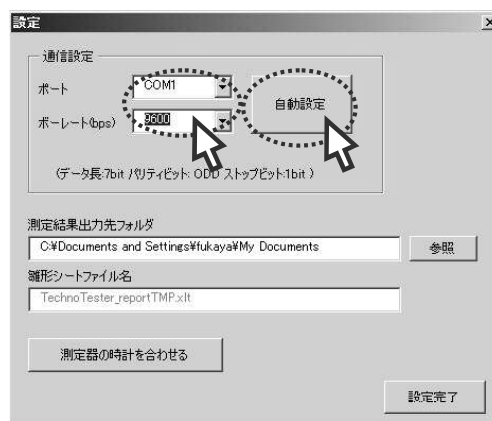
- (1) 通信ポート、ボーレートの設定（手動および自動設定）
- (2) 測定結果ファイル保存先フォルダの設定
- (3) テクノテスターの時刻設定

(1) 通信ポート、ボーレートの設定（手動および自動設定）

「ポート」「ボーレート」のドロップダウンリストを選択することで、設定を変更できます。

また、「自動設定」ボタンを押すことで自動的に検索することができます。

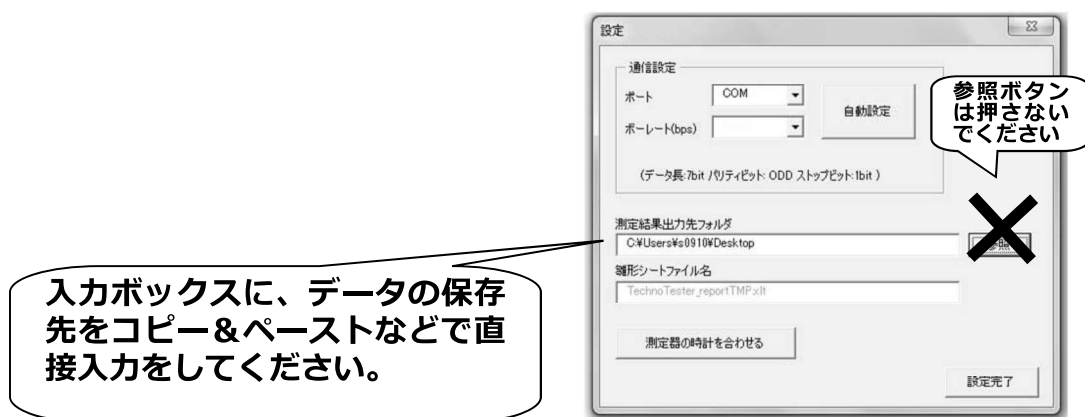
▼のマークをクリックし、表示されたリストをクリックすることで「ポート」「ボーレート」の設定を手動で変更可能



(2) 測定結果ファイル保存先フォルダの設定

「参照」ボタンは押さずに、入力ボックスに直接保存先を入力してください。

「設定完了」ボタンを押すと保存フォルダ設定が確定し、ダイアログが閉じます。



(3) テクノテスター（試験機）の時刻設定

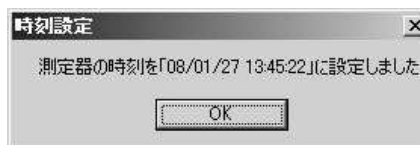
①「測定器の時計を合わせる」ボタンを押すと、テクノテスター（試験機）の日時を設定できます。

※ 日時は本ソフトウェアの動作しているパソコンで設定されている時計の日時が適用されます。



【測定機の時計を合わせる】ボタンをクリック

②設定成功時は設定した日時が表示されます。



7. エラーメッセージと対処方法

エラーメッセージ	対処方法
測定データの取り込みに失敗しました。	テクノテスターとの通信に失敗しました。 ケーブルや COM ポート、ボーレートの設定を再確認してください。※詳細は以下のエラーで併記されます。
COM ポートを開けません。	テクノテスターとの通信用に設定されている COM ポートが存在しないか、他のアプリケーションが使用中です。正しいポートを設定するか、他の通信アプリを終了してください。
測定器から受信したデータに異常があります。測定データに不整合箇所がありました。	テクノテスターから取り込んだデータに異常があります。 通信中の文字化けやケーブル不良などが原因となります。 再度、取り込み操作をやり直してください。
測定器からの応答に異常があります。	テクノテスターの測定データクリアや時刻設定時に正しい応答がない場合発生します。 通信中の文字化けなどが原因となります。再度、操作をやり直してください。
測定器は見つかりませんでした。	テクノテスターの COM ポート自動設定時にテクノテスターが発見できなかった場合に発生します。 ケーブルやテクノテスターのモード（データ転送モードである必要があります）を再確認してください。
Excel ファイル出力中にエラーが発生しました。	測定データの保存時にエラーが発生しました。保存先のフォルダへハードディスク容量を再確認してください。
測定データクリアに失敗しました。	テクノテスターの測定データクリア処理に失敗しました。
Microsoft Visual Basic for Applications : コンパイルエラー こういった用語が含まれる数行のエラーメッセージが表示され、その後強制的にシャットダウンとなる。	Excel バージョンと本ソフトウェアの適合に関するエラーです。適合しない Excel2002～2010 でテクノテスター Report Ver.2.0 の操作を試みるとコンパイルエラーが表示され操作できません。 <u>1 頁目に記載した Excel2013,2016,2019 でテクノテスター Report Ver.2.0 操作をお願いいたします。</u> Excel2002～2010 をご利用の場合はテクノテスター Report Ver.1.5 で操作をお願いいたします。

・テクノテスターPC ケーブル（CABLE-PC）および USB シリアル変換ケーブルを強く引っ張ったり、強い衝撃を加えたりすると断線するおそれがございます。ケーブル断線が起きると通信ができず、上記のいずれかのメッセージで表示がなされます。
（“ケーブル断線” とは表示が出ませんのでご注意ください。）

テクノテスターReport セットアップ チュートリアル

ハードウェア接続編

電源が入っていない状態で2つのボタンを同時に長押しする

タイトル画面

DATA LOGGER
VER 1.00-06
SUM R640
2009/12/05
12:01:01

DATA READ

FILE POINT 62 00062

測定部に保存した試験データ数が表示される

データ転送モード

テクノテスターReport画面

テクノテスターReportはフォルダごとPCへコピーする

USBドライバインストール

USBシリアル変換ケーブル

CABLE-PC

CABLE-GRA(廃番)

丸い端子が2つあるケーブルは使用不可です

アプリケーションCD-ROM

Windows搭載のパソコン

テクノテスターReport MP

フォルダ内2つのファイルのうち、右のファイルを開ける

テクノテスターReport画面

測定データを取り込む

設定

終了

自動設定

測定器を検出できませんでした

測定データの取り込みに失敗しました。(測定部からの応答がありません)

セットアップ後のReportの操作で下記のエラーが出た場合は、以下の項目をご確認ください。

テクノテスターReport

測定データを取り込む

□ 通信後に測定部のデータをクリアする

設定

終了

自動設定

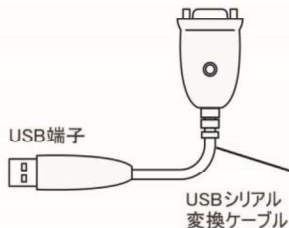
エラーメッセージ

「測定データの取り込みに失敗しました。(測定部からの応答がありません)」

「測定器を検出できませんでした」

- ① Excel形式の2つのファイルは同じフォルダ内にコピーしましたか？
- ② 接続ケーブルは同梱のCABLE-PCを使用されていますか？ 丸い端子1つのケーブルがCABLE-PCです
- ③ 測定部はデータ転送モードになっていますか？
- ④ USBケーブルのドライバー（プログラム）はパソコンにインストールされましたか？

⇒ すべて「はい」でハードウェアのセットアップはOKです。



※重要
ご使用のWindowsのOSに対応するドライバをメーカーのホームページからダウンロードし、パソコンにインストールしてください。ドライバをインストールしないと、ケーブルは通信しません。

8. 保証とアフターサービス

ソフトウェアについて

1 ページ（2）動作確認環境に記載の通り、動作保証はいたしかねます。
予めご了承ください。

ハードウェア（専用ケーブル等の付属品）について

◎保証期間について

製品購入日から 1 年間は、弊社の製造上の問題に起因することが
明らかな不良については、無償で製品を交換または修理いたします。

◎保証範囲外の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼により、
有償修理いたします。

◎修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときには、保証範囲の内外にかかわらず、できるだけ
詳しい故障の症状を、弊社の支店・営業所までお知らせください。

サンコーテクノ株式会社

本社営業	TEL 04-7157-8181	新潟営業所	TEL 0256-47-1135
大阪支社	TEL 06-6748-0833	横浜営業所	TEL 045-340-3517
札幌支店	TEL 011-876-9035	静岡営業所	TEL 054-237-0102
仙台支店	TEL 022-236-2533	金沢営業所	TEL 076-240-3535
名古屋支店	TEL 052-355-3501	岡山営業所	TEL 086-296-8031
広島支店	TEL 082-275-5091	高松営業所	TEL 087-885-7431
福岡支店	TEL 092-587-0188	鹿児島営業所	TEL 099-225-8311

お客様相談窓口 TEL  0120-350-514

受付時間 祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～12:00/13:00～17:00

<https://sanko-techno.co.jp/>

本製品は予告なしに仕様等を変更する場合がございます。予めご了承ください。